

受験番号	
名前	

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「じゃあ、カレーでいいか。」

お父さんは笑って、台所の戸だなを開けた。

「おとどい買ってきたルウが残ってるから、それ使えよ。」

戸だなから取り出したのは――甘口。お子さま向けの、

うんとあまいやつ。お母さんが、

「ひろしはこっちなね。」

と、ぼくの分だけ別のなべでカレーを作っていた低学年の

ころは、ルウはいつもこれだった。

①だめだよ、こんなのじゃ。」

ぼくは戸だなの別の場所から、お母さんが買い置きして  
いるルウを出した。

「だって、ひろし、それ『中辛』だぞ。からいんだぞ、口  
の中ひいひいしちゃうぞ。」

「何言ってるの、お母さんと二人のときは、いつもこれだ  
よ。」

お父さんは、また②きよとんとした顔になった。

「おまえ、もう『中辛』なのか。」

③意外そうに、半信半疑できてくる。

ああ、もう、これだよ。お父さんって、なあんにも分か  
ってないんだから。

④あきれた。うんざりした。  
でも、

「そうかあ、ひろしも『中辛』なのかあ、そうかそうか。」

問1 ①「だめだよ、こんなのじゃ」とありますが、「ぼく」は何を「だめだよ」と言ったのですか。あてはまるものを一  
つ選び、記号に○をつけなさい。

ア 中辛のカレーのルウ

イ 甘口のカレーのルウ

ウ お母さんが買い置きしているルウ

エ 大人向けの味つけになるカレーのルウ

問2 ②「きよとんとした顔」とありますが、そのときのお父さんの気持ちを表す四字の言葉を文章から書き抜きなさい。  
( )

問3 ③「意外そうに」とありますが、お父さんが意外に思ったのはどういうことですか。  
( )

問4 ④「あきれた。うんざりした。」とありますが、「ぼく」がこのような気持ちになったのはなぜですか。  
( )

問5 ⑤「思いつきり大盛りにご飯をよそった」から、お父さんのどんな様子が分かりますか。あてはまるものを一つ選  
び記号に○をつけなさい。

ア かげが治って、食欲がもどってきてきている様子。イ おいしそうにできたカレーを早く食べたがっている様子。

ウ ひろしとの心の通い合いを感じてうれしい様子。エ ごはんが余ってしまうのでたくさん食べなくてはいけない様子。

と、うれしそうに何度もうなずくお父さんを見ると、  
なんだかこつちまでうれしくなってきた。

二人で作ったカレーライスができあがった。野菜担当の  
お父さんが切ったじゃがいもやにんじんは、やつぱり不格  
好だったけど、しんが残らないようにしつかりにこんだ。  
台所にカレーのかおりがふうんとただよう。カレーはこう  
でなくつちや。

お父さんは、ずっとごきげんだった。

「いやあ、まいったなあ。ひろしももう『中辛』だったん  
だなあ。そうだよなあ、来年から中学生なんだもんなあ。」  
と、一人でしゃべって、

「かげも治っちゃったよ。」

と笑って、⑤思いつきり大盛りにご飯をよそった。

食卓に向き合ってすわった。「ごめんさい。」は言えな  
かったけど、お父さんはごきげんだし、「今度は別の料理も  
二人で作ろうか。」と約束したし、残り半分になった今月の  
「お父さんウィーク」は、いつもよりちよつと楽しく過ご  
せそうだ。

「じゃあ、いただきます。」

口を大きく開けてカレーをほお張った。

ぼくたちの特製カレーは、ぴりつとからくて、でも、ほ  
んのりあまかった。(重松清「カレーライス」より)

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(文頭の数字は段落番号です)

① 川って、いったいどんなところでしょう。多くの皆さんにとっては、日常の生活の中で川というものをとりたてて意識することはないかもしれません。それは、川というものが意識のうえでも生活のうえでも、皆さんの暮らしから切り離はなされているからです。でも、川というものは、ただ上流から下流へ水が流れているだけの水路ではありません。また、日照りが続くときだけ思い出させてくれるように、私たちに飲み水や生活に必要な水を与えてくれるだけの水路でもありません。ましてや、汚よじれたものを流すための水路や、洪水こうすいのときに私たちの生活を脅おびやかす水路でもないはずです。

② じつは川の中や水辺の周辺には、皆さんが知らない、あるいは気づこうともしない、多くの生き物たちのさまざまな暮らしがあるのです。①そのことを体感するには、たくさんの本を読んだり、ビデオを見たりして知識を身につけるよりも、もっと確実な方法があります。それは、皆さんがふだんの暮らしの中で知らず知らずのうちに身につけてしまった、時間や空間やさまざまな日常生活に対する「人工的な感覚」を、できるだけ捨て去ることです。そして水に囲まれた小宇宙に自分の身を置く心持ちになって、川を感じてみることで。つまり川の流れに身をひたして、魚たちの視線で川をながめてみるのです。

③ 私たちは、身のまわりの世界のほとんどを「A」を通して認識にんしきしています。でも、目にはしていないがら、「ほんとうは見えていない」ことも多いのです。そんな見過ごしていたことに目を開く一つの方法は、自分がふだん見慣れているものをきっかけにして、自分自身に問いかけてみることです。これは一つの連想ゲームのようなものかもしれません。

④ たとえば、皆さんがお昼のお弁当を買いに、コンビニに出かけたとします。そこでウナギのかば焼きの入った弁当を見つけました。そのとき、皆さんが「おいしそうなウナギだな」と思うだけでなく、「いったいこのウナギはどこでとられたんだろう」と思ったとしたら、ここからが始まりです。

⑤ じつはそのウナギはすべて、国内ばかりでなく、中国本土や台湾たいわん(中華民国)などで養殖ようじよくされたものです。(B)、その養殖のもととなるウナギの種(これを水産のことはで種苗しゅぶまうといいます)は、まだアユやニジマスのように人工的に水槽すいそうで管理してつくり出すことはできません。(C)シラスウナギと呼ばれる全長五、六センチのように軸じくくらしい太さの無色透明むせきとうめいのウナギの稚魚ちりぎよを、冬から春にかけて河口でとらえてこなければなりません。それを池で飼って大きくしたものを、皆さんが食べているのです。

⑥ 大きくなったウナギは川にいます。ではなぜシラスウナギは河口でとれるのでしょうか。あとでくわしくお話するように、ウナギの生活史は長いあいだ謎なぞに包まれていましたが、近年になって海洋での調査が進み、日本のはるか南にあるマリアナ諸島近海で生まれたウナギの仔魚しご、つまり赤ちゃんが、半年近く海を漂たなって日本の沿岸に近づき、シラスウナギになることがわかってきました。

⑦ つまり、皆さんが日ごろ何げなく口にするウナギにも、池で飼われる前に半年にも及ぶ海おでの神秘的な生活があったのです。そして、川で何年か過ごしたあと、親ウナギとなって再び生まれ故郷の南の海へと旅だつといったドラマチックな生活をしているのです。

⑧ このようになにも川の上ばかりでなくて、都会の真ん中で生活していても、皆さんの日常生活の中で気がつかないところで、意外と川の生き物たちとのつながりがあるのです。そして、皆さんがほんの少し、川やそこにすむ生き物たちのことについて、自分自身に問いかけてみる気持ちと、魚の視点をもって川をながめてみるようになると、川やそこにすむ生き物たちはもつとさまざまな表情を見せてくれるはず。 (松浦秀俊「川に親しむ」より)

問1 筆者はこの文章でどのような問いについて論じていますか。それがわかる一文を文章中から書き抜きなさい。

( )

問2 ①「そのこと」の内容をまとめた次の文の空らんにあてはまる言葉を文章中から二十字で書き抜きなさい。

川や水辺には、( )

( )とということ。

※問題はその三に続きます。

受験番号	
名前	

問3 (A)にあてはまる言葉として適当なものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ア 日常生活
- イ 視覚
- ウ 人工的な感覚
- エ 知識

問4 (B)・(C)にあてはまる言葉の組み合わせとして適当なものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ア (B) ところが C さらに ( ) イ (B) たとえば C しかし ( )
- ウ (B) でも C そのため ( ) エ (B) あるいは C だから ( )

問5 4段落から始まるウナギについての説明は、どのようなことの詳細例となっていますか。文章中から三十七字で書き抜き、最初と最後の五字を書きなさい。


問6 この文章の内容として適当なものを次から一つ選び、記号に○をつけなさい。

- ア 川やそこにすむ生き物たちについてより深く理解するためには、日常生活の中で目にするものをきつかけにして、川の生き物たちとのつながりについて自分自身に問いかけてみることを意識するとよい。
- イ 都会で生活している人間にとって、川というものは意識のうえででも生活のうえでも暮らしから切り離されているため、川やそこにすむ生き物たちについて知るためには、本やビデオに頼るしかない。
- ウ 私たちが口にするウナギはすべて、国内外で養殖されたものであるが、養殖のもとなるウナギの稚魚は河口でとらえてこなければならぬため、ウナギの生活史が明らかにされることはなかった。
- エ 日常生活に対する「人工的な感覚」を捨て去り、川やそこにすむ生き物たちの神秘的でドラマチックな生活に思いをはせることで、自然環境に対する意識を高めることができる。

三 次のことわざの中から、意味が似ているもの同士の組み合わせを四組作りなさい。

- ア 二兎を追う者は一兎をも得ず
- イ 泣き面に蜂
- ウ 弱り目にたたり目
- エ ひょうたんからこま
- オ あぶりはち取らず
- カ 石橋をたたいてわたる
- キ うそから出たまこと
- ク 下手の横好き
- ケ 好きこそものの上手なれ
- コ さるも木から落ちる
- サ かれ木も山のにぎわい
- シ かつばの川流れ
- ( ) と ( ) ( ) と ( ) ( ) と ( ) ( ) と ( )

四 次の漢字の指定された画数を解答欄の字の上からなぞりなさい。

- ① 必 【二画目】
- ② 健 【三画目】
- ③ 帯 【四画目】

